

製品名: ABCF1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06420**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCF1
別名	ABCF1; ABC50; ATP-binding cassette sub-family F member 1; ATP-binding cassette 50; TNF-alpha-stimulated ABC protein
遺伝子 ID	23.0
SwissProt ID	Q8NE71
免疫原	ABCF1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 760-840

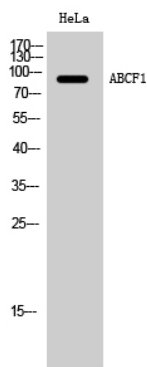
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ATP 結合カセット (ABC) トランスポータースーパーファミリーのメンバーで

す。ABC タンパク質は、細胞外膜および細胞内膜を介して様々な分子を輸送します。ABC 遺伝子は7つの異なるサブファミリー (ABC1、MDR/TAP、MRP、ALD、OABP、GCN20、White) に分類されます。このタンパク質は GCN20 サブファミリーのメンバーです。このスーパーファミリーの他のメンバーとは異なり、このタンパク質は、ほとんどの ABC トランスポーターに特徴的な膜貫通ドメインを欠いています。このタンパク質は、腫瘍壊死因子 α によって制御され、タンパク質合成と炎症プロセスの促進に関与していると考えられます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: mRNA 翻訳に関与する可能性がある。 ,誘導: 培養滑膜細胞における TNF による。 ,翻訳後修飾: DNA 損傷時にリン酸化される。 おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: ABC トランスポーターファミリーに属する。 ,類似性: ABC トランスポーターファミリーに属する。 EF3 サブファミリーに属する。 ,類似性: 2 つの ABC トランスポータードメインを含む。 ,サブユニット: 真核生物翻訳開始因子 2 (eIF2) と相互作用する。 リソソームと会合する。 ,組織特異性: 普遍的。 ,

研究分野

画像データ



ABCF1 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析